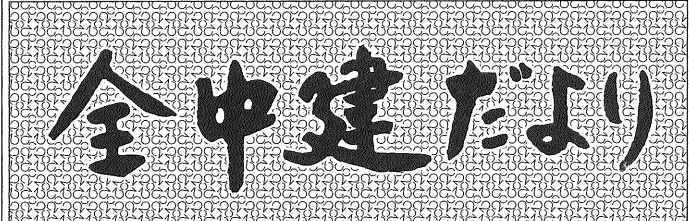


主な記事

- 第2面 会員拡大・増強と財政再建策を検討する特別検討委員会
- 第3面 ICT施工、会員からの投稿・ドローン講習会、自民党大会で感謝状、小野元会長逝去
- 第4面 会員からの投稿・現場見学会、発注者のあり方中間まとめ、建設キャリアアップシステム早期申請で割引



一般社団法人
全国中小建設業協会
編集発行人 河崎 茂
〒104-0041 東京都中央区新富2-4-5
URL <http://www.zenchuken.or.jp/>
電話 03(5542)0331(代表) F A X 03(5542)0332



理事会の冒頭、豊田剛会長は、「昨日(3月15日)、ブロック別意見交換会の上で中小建設業の換会の意見のまとめと会



豊田会長
員企業を対象に実施した人材確保・育成対策等に係る実態調査結果を、国土交通省に報告し、

全国中小建設業協会(全中建)は3月16日、東京・中央区のコートヤード・マリOTT銀座東武ホテルで平成29年度第5回通常理事会を開催した。上程されたのは平成30年度の事業計画(案)、スローガン(案)、予算案、危機的状況にある中小建設業者の窮状打開に関する要望(案)など10議題。一部で継続検討事項はあったものの基本的に了承した。

第5回通常理事会

30年度事業計画を決める

働き方改革と組織拡充など

平成30年度スローガン(案)

- ・地域社会への貢献と社会的信頼の向上
- ・地域の防災・減災と復旧・復興への対応
- ・公共事業予算の長期・安定的な確保と地域建設業者の受注拡大
- ・発注の平準化及び適正工期の設定
- ・形を代えた歩切りの完全撤廃とダンピングの排除
- ・若年者の入職促進と人材育成及び女性の活用
- ・若手経営者の育成・後継者の育成
- ・協会組織・会員の拡充
- ・働き方改革の推進

工事設計労務単価の報告、3月15日に国土交通省に提出したブロック別意見交換会のまとめと人材確

国土交通省・建設業働き方改革加速化プログラム

長時間労働是正

給与・社保

生産性向上

3分野の取り組み加速

石井大臣 建設4団体に要請

国土交通省は3月20日、「長時間労働是正」「給与・社保」「生産性向上」の3分野で、週休二日確保を始めとする働き方改革を加速させるために施策をパッケージ化した「建設業働き方改革加速化プログラム」を策定。3月27日には石井啓一国土交通相が、全国中小建設業協会のほか、日本建設業連合会、全国建設業協会、建設産業専門団体連合会の建設業関係4団体に積極的な取り組みを要請した。

■加速化プログラム主要内容

- ①長時間労働是正
・週休二日導入後押し 実施に必要な経費計上のため労務費等の補正導入、共通仮設費、現場管理費の補正率を見直し
- ・各発注者の特性踏まえた適正な工期設定推進 「適正な工期設定等のためのガイドライン」を改訂
- ②給与・社保
・技能や経験にふさわしい処遇(給与)実現 建設キャリアアップシステムの本格稼働。技能者の能力評価制度策定と、専門工事企業の施工能力などの見える化検討
- ・社保加入を建設業を営む上でのミニマム・スタンダードにする 社保未加入の建設企業は、業許可・更新を認めない仕組みを構築
- ③生産性向上
・生産性向上に取り組む企業の後押し 中小企業のICT積極的活用を促すため、公共工事の積算基準などを改善
- ・仕事の効率化 書類作成負担軽減へ基準類を改定、IoT導入で品質向上と省力化
- ・限られた人材・資機材の効率的活用促進 将来的な技術者減少を見据え、技術者配置要件の合理化検討

必要経費計上のため各経費項目で補正率を導入したり、社保未加入企業は建設業許可や更新を認めないなどより強い姿勢を打ち出しているのが特徴だ。

国土交通省は、週休二日対象工事の適用を拡大するとともに、週休二日導入で発生する経費増加を踏まえ、土木工事・業務の積算基準を見直した。4月1日以降の契約から適用する。具体的には、補正係数を設け必要経費を割り増す。新たに労務費と機械経費(賃料)で補

保・育成のための調査報告、労務費対策委員会報告を行った。さらに、課題である会員拡大・増強について

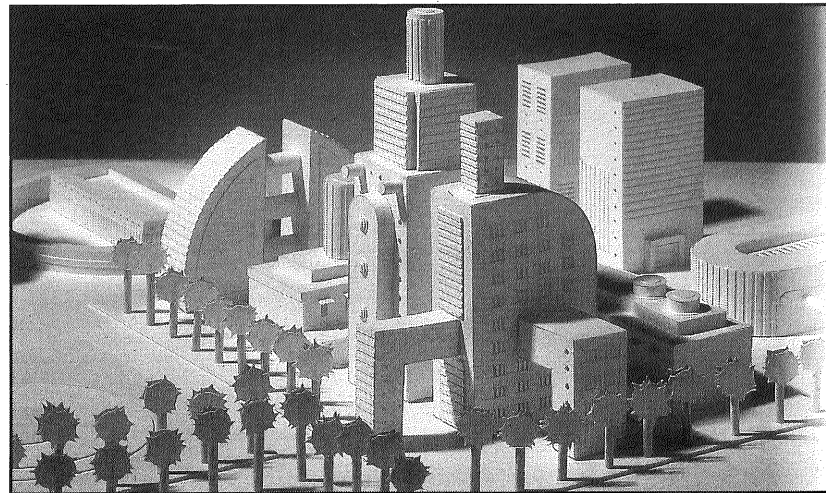
施工時期の平準化
入契法規定も視野

市町村の取組み支援強化

国土交通省は、建設業の生産性向上と働き方改革につながる、市町村など公共発注者の「施工時期の平準化」取り組み促進を目的にした施策の検討を開始した。具体的には、公共工事の入札及び契約の適正化促進法(入契法)を改正し、施工時期の平準化の規定を提起した。

市町村の取組み支援強化
盛り込むことを視野に入れている。市町村の施工時期平準化取り組み支援強化は、4月に開いた中央建設業審議会・社会資本整備審議会産業分科会建設部会では、公共工事の入札及び契約の適正化促進法(入契法)を改正し、施工時期の平準化の規定を提起した。

ただ一方、市区町村は債務負担行為の活用や柔軟な工期設定、速やかな繰越手続きといった具体的な平準化の取り組みは全体の2割前後しか実施されていない。そのため、入契法に盛り込めば、平準化の根拠規定になって市町村で平準化が進まない課題の解消につながるなどの判断があった。



保証事業を通じて
安全で活力のある社会を創るための
お手伝いをしています

東日本建設業保証株式会社

〒104-8438 東京都中央区八丁堀2-27-10 TEL 03-3552-7520
<https://www.ejcs.co.jp/>

営業部 東京都中央区八丁堀2-5-1 TEL 03-3551-9511
東京建設会館2F FAX 0120-027-036

支店 新宿・青森・岩手・宮城・秋田・山形・福島・茨城・栃木・群馬・埼玉・千葉・神奈川・山梨・長野・新潟・富山・石川・福井・静岡・愛知・岐阜・三重・大阪

建設産業図書館 <https://www.ejcs.co.jp/library/cil.html>



●お申し込み・お問い合わせは●
 一般財団法人 経済調査会 業務部 〒105-0004 東京都港区新橋6-17-15 菱通御門ビル
 ☎ 0120-019-291 FAX 03-5777-8237 詳細・無料体験版・ご購入はこちら!
 BookけんせつPlaza

ICT施工の適用拡大

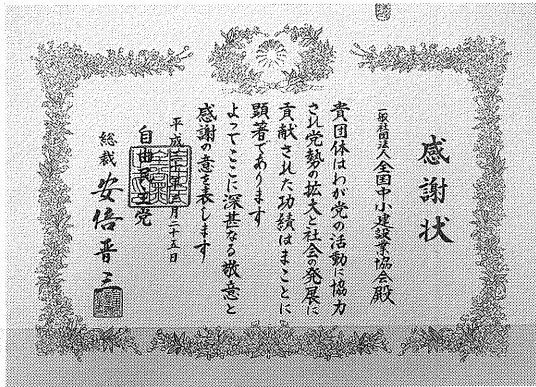
要領、基準類を改定

国土交通省は、ICT表した。工種拡大の一つ、河川浚渫工では、バックホウに続いて、2018年度浚渫船による浚渫工に、「浚渫工（河川）」と測量から検査まで3次元「維持管理（橋梁・トンネル）のインフラ空間把握」の工種拡大を決めた。またICT施工やCIMの運用、ICT活用の公共測量マニュアルなどの策定と基準類改定も合わせて公表した。3月末、必要基準類の改定と新規基準を設けた。また工種拡大もう一方の工種である、橋梁・トンネルの維持管理では、「セメント・コンクリー

ロボットの点検などによる維持管理の高度化も見据え、3次元的に正確な位置情報を付した変状などの記録を3次元モデルを活用工事の適用を拡大する。具体的には、工事規模が大きなものに適用される発注者指定型を順次拡大するなかで、総合評価でICT活用施工を加える施工者希望I型をこれまでの土工量2万立方メートルから1万立方メートルまで広げてICT活用の選択肢を拡大させる。

一方、ICT土工の拡大として、工事種別（21種別）のうち一般土木工事に限定していた適用を、「アスファルト舗装」を、「セメント・コンクリー

あるICT施工は、政府が進める人口減少・高齢化に対応するイノベーション（技術革新）によって生産性向上や働き方改革実現につながり、結果として産業と経済の活性化をもたらす成長戦略の柱の一つ。ただICT施工拡大には、企業数や工事件数で大半を占める中小・零細企業の取



全中建が自民党から感謝状

全国中小建設業協会は3月25日、東京・高輪のグランドプリンスホテル新高輪国際館パミールで行われた自由民主党大会で、同党から支援団体として感謝状と記念品を受けた。

ドローン活用に多くのメリット

愛知県土木研究会 朝日工業株式会社 工事部 伊藤 圭

今回のドローン研修で私も現場状況のデータ収集は、すぐにでもドローンの活用を始める。またデータは3次元で取得でき、起伏など付いておく必要があると感

投稿

建設現場に活用する多くのメリットがあると考えられる。建設分野でのドローンは既に導入されており、作業員を危険にさらさず何



小野全中建元会長が逝去

3等瑞宝章を受章した。ここに改めて小野元会長のご冥福をお祈り申し上げます。

政権の経済政策に翻弄されながらも、中小建設業発展に尽力した。多大な貢献によって、80（昭和55）年に黄綬褒章、01年4月に勲

全中建の元会長で、小野建設（静岡県三島市）会長の小野金彌（おの・きんや）氏が3月11日、逝去された。94歳だった。第3代会長として、行財政改革のなか公共事業費削減に直面しながらも、「中小建設業者が危機感を強めていることの発端は地方財政にある」として地方自治体に対する予算確保の要請活動を強化。会長を務めた1997（平成9）年6月から2001（平成13）年6月までの4年間、財政再建と経済対策に揺れる

◇「下請セーフティネット債務保証」のご案内◇

中小・中堅建設企業のみならず

公共工事請負代金債権等を担保にした元請建設企業への融資制度

公共工事や社会全体の効用を高める施設に関する民間工事を受注・施工している元請建設企業が融資事業者から工事出来高に応じて融資を受けることが出来る国土交通省の制度です。（詳細は下記HPをご覧ください。）

- 受注はあるけど資金繰りが厳しい！
- 担保になる不動産がない！
- 金融機関の借入枠に余裕がない！
- 経費のYポイントをアップしたい！



こんなことでお困りなら利用をご検討ください。

（一財）建設業振興基金 金融支援課 TEL 03-5473-4575
詳しくは◆<http://www.kensetsu-kikin.or.jp/saimu/saftynt.html>

全中建 会員企業の皆さまのための福利厚生制度

全中建災害共済制度は会員企業の役員・従業員の保障です！

＜災害保障特約付団体定期保険＞

○業務上・業務外を問わず24時間の死亡保障です。

※病気・災害を問わず、お亡くなりになった場合の保障です。

○けがで5日以上入院した場合も保障されます。

○災害により所定の障害状態になった場合に保障されます。

○割安な掛金で大きな保障が得られます。

○ご加入を希望される会員企業ごとに全員加入です。

本制度のお問い合わせは
全中建事務局まで。
TEL:03-5542-0331

引受生保
朝日生命保険相互会社（事務幹事）
メットライフ生命保険株式会社
三井住友海上あいおい生命保険株式会社

お申込みにあたっては、パンフレット、「特に重要なお知らせ（契約概要）（注意喚起情報）」を必ずご確認ください。
朝日-団-29-26-M（H30.2.8）

平成30年度建設業経理検定試験及び特別研修のご案内

【47都道府県主要都市で実施】

建設業経理検定試験

1級、2級合格者は、経営事項審査の評価対象の1つになっています

区分	上期試験1級・2級	下期試験1級・2級・3級・4級
申込方法	インターネットまたは郵送による申込	
申込期間	平成30年5月18日（金）～6月19日（火）	平成30年11月16日（金）～12月18日（火）
試験日	平成30年9月9日（日）	平成31年3月10日（日）
合格発表	平成30年11月10日（土）	平成31年5月10日（金）

建設業経理事務士特別研修

平成30年度より4級・3級の同時申込割引開始

区分	特別研修3級・4級
申込方法	インターネットによる申込
申込期間	平成30年5月10日（木）～ ※定員に余裕がある限り、講習開始の約2週間前まで受付を行います
研修日	平成30年7月～11月のうち 4級→連続した2日間 3級→連続した3日間
合格発表	研修日最後の検定試験終了後可否通知を本人宛郵送

一般財団法人
建設業振興基金

金融・経理支援センター（経理研究・試験）
TEL 03-5473-4581 FAX 03-5473-1593
〒105-0001 東京都港区虎ノ門4-2-12

建設業経理検定

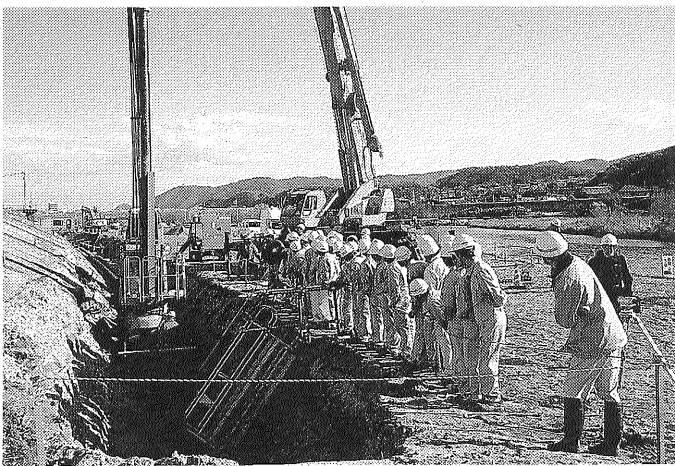
検索

建設業経理検定WEB <https://www.keiri-kentei.jp/>



土木学部地元高校1年生招き現場見学会

全中建広島県支部 佐々田土建株式会社
代表取締役 三島 俊美



芦田川新市地区高水護岸外工事を見学した

平成29(2017)年12月11日、地元で土木を学ぶ、府中東高等学校都市システム科1年生38人を芦田川新市地区高水護岸外工事の工事現場に招いて見学会を実施した。

会員からの投稿

当工事は国土交通省中国地方整備局福山河川国道事務所が発注工事で、当日の作業は堤防補強に伴う硬質地盤クリア工法による矢板圧入作業であった。当見学会は地元で土木を学ぶ子供達に少しでも土

木の現場を知ってもらい、愛円強もするとの説明に「すごいと感じ、1人でも多くの子供が土木の業界に、そして地元に残って欲しいとの願いを込めて実施した。」

実施に先立ち芦田川出張所の豊田清光所長に計画を打診した際、積極的に協力しようという快諾をいただいたのは、ありがたかった。その後発注者のためにやるがいのある側から記者発表していただき、当日も豊田所長以下4名の職員の方に広報対応等で参加いただいた。まさに官民一体となった活動となった。

当日は風が強く寒い日だった。風速が規定を上回らないよう関係者一同ハラハラする中、先生と生徒を乗せたバスが到着した。当校OBの小松地域、子供達へのアプローチの重要性を感じさせられる見学会であった。

「初めて工事現場の作業を見学したが、迫力があって、堤防の補強がいかに大切な作業かという事も分かった」

「今、溶接を習っているが、あんな難しい溶接を二発でやるなんてすごかった」

「子供達の反応を見て改めて、子供達の反応を見て改めて、一方、事業者の登録も有効期間5年だが今年度登録分については技能者ICカードと同じ扱い。事業者がシステムに必要なID利用料(1ID11年額2400円)も20年3月までの期間限定で1IDだけ無料になる。」

国交省部会 地域建設業 適切評価の制度に 発注者のあり方で方向性

国土交通省は、今後の発注者のあり方と方向性を提示した『今後の発注者・管理システムのあり方に関する懇談会の下に』

国土交通省は、今後の発注者のあり方と方向性を提示した『今後の発注者・管理システムのあり方に関する懇談会の下に』

国土交通省は、今後の発注者のあり方と方向性を提示した『今後の発注者・管理システムのあり方に関する懇談会の下に』

国土交通省は、今後の発注者のあり方と方向性を提示した『今後の発注者・管理システムのあり方に関する懇談会の下に』

国土交通省は、今後の発注者のあり方と方向性を提示した『今後の発注者・管理システムのあり方に関する懇談会の下に』

- 今後の発注者のあり方に関する方向性
- 1 働き方改革の推進及び中長期的な担い手の確保育成
 - 適切な予定価格と工期確保
 - 週休二日確保などによる適切な労働時間確保
 - 技術者、技能者の確保、活用と人材育成
 - 建設現場環境の改善と積極的な広報
- 2 「地域の守り手」である地域の建設産業の持続的な育成・確保
 - 地域の建設産業が活躍できる市場の創出
 - 地域の建設産業が適切に評価される入札・契約方式などの改善
 - 発注機関相互の情報共有、連携強化
- 3 i-Constructionの推進などを通じた生産性向上
 - i-Conの深化
 - 新技術の導入促進
 - 技術開発の推進
- 4 品質に対する信頼性向上
 - 監督、検査態勢の確保などによる信頼性の向上
 - 新技術の活用などによる品質管理の合理化
- 5 建設生産・管理システムの不断の改善
 - 大規模更新時代に向けた建設市場の創出
 - 建設現場のデータ化による建設生産・管理システムの大循環の実現
 - 公共事業のマネジメント向上
 - 海外展開を促進する仕組み構築

11月16日(金)	「若手経営者会議」	モントレ銀座ホテル
10月12日(金)	「事務局局長会議」	KKRホテル東京
9月7日(金)	「理事会」	銀座東武ホテル
7月2日(月)	「安全衛生委員会」	銀座東武ホテル
6月8日(金)	「正副会長会議」	銀座東武ホテル
5月17日(木)	「正副会長会議」	銀座東武ホテル
5月10日(木)	「共済制度運営委員会」	全中建設事務局
5月7日(木)	「財務委員会・監事監査」	全中建設事務局

全中建会員企業の皆様へ

中小建設業者災害補償制度へのご加入をおすすめします

新制度**第三者賠償責任保険[総合]**を発足しました<2014.4~>

現在、全国で多数の会員企業の皆様が加入されており、「不測の事故時の会社経営安定」と「従業員の福利厚生の一環」として大変役立っております。

■大きな割引が適用されます。(本制度最大のメリットです。)

法定外労災補償保険(労働災害総合保険) : 約70.3%割引

第三者賠償責任保険(請負業者賠償責任保険): 約30~50%割引

■法定外労災補償保険は「経営事項審査」の加点評価になります。

MS&AD 三井住友海上火災保険株式会社

全中建 会員企業の皆さまのための保険

あんしん工事保険制度は毎月中途加入が可能です!!

土木工事・建設工事(建築工事)の**工事対象物**にかかわる**リスクを補償**します。

工事に必要とされる保険が**ワンストップ**で手配いただけます!

毎月1日付中途加入(前月15日申込締切)

(保険期間:2017年4月1日~1年間)

見積りのご請求だけでもOK! まずはお試しください!!

東京海上日動火災保険株式会社

(担当課) 公務第一 公務第一課 一課および現地営業課 支社

〒102-8014 東京都千代田区三番町6-4

TEL:03-3515-4122 FAX:03-3515-4123

求人企業募集中!!

建設業で働きたいと真剣に考えている**職業訓練修了者**を**紹介**します。

GET

厚生労働省 建設労働者緊急育成支援事業 **建設業 WelCOME!**

建設業 限定!!

職業訓練修了者を建設企業に紹介し、採用につなぐ支援システム

「GET」

現場で必要となる**基礎技能・技能資格**を取得した求職者を紹介

・国の事業だから安心の紹介・採用料**0円**

・平成30年度は1年間で**1000人**の職業訓練参加者を募集

建設業で働いてみたいという離職者、新卒者、未就職卒業生等を対象に、全国各地で職業訓練を実施し建設業に従事するために必要な各種資格の取得、技能習得に取り組んでいただき、地元の建設業への就職に結びつけます。

求職者も募集!

応募 職業訓練・資格取得 現場見学等 就職先を紹介 建設業で活躍

求職者の職業訓練の申し込み/企業登録・採用申し込みは下記ホームページまたはお電話にて

代表窓口 **(一財)建設業振興基金** 東京都港区虎ノ門4丁目2番12号 虎ノ門4丁目MTビル2号館6階 **03-5473-4589**

ホームページ <http://www.kensetsu-kikin.or.jp/kunren/> 受付時間 9:00~17:30 (土・日・祝日除く)